

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	運転席から負傷者を救出しようとした際、後方から来る車と接触しそうになった事例。
3. 体験した事例の中心的要素	①運転席のドアを開けた際、後方から接近する車両の間に活動スペースがとれなかった。 ②運転席の負傷者の状態に気をとられ、後方から来る車両への注意力の欠如。 ③助手席側からの救出の有無の確認が必要であった。
4. 体験した事例の原因・理由	①救急隊の支援活動から、結果、救助事案になったため、二次災害への対応が遅れた。 ②車両3台による交通事故で、パトカーが事故車両の手前で先着していたため、事故車両の前方に停車してしまい、自車を盾とした活動スペースを取らなかった。

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。
------------------	--------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 21 年 5 月 6 日 午前 2 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋外：二車線の道路上
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	交通事故、
7. 事例体験時の活動	救助現場活動初期、 []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	救出準備作業、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[48]歳、勤続年数[25]年、現場経験年数[25]年、階級[消防司令補]、同様の活動[頻繁]、任務[車長]
○当事者B	年齢[32]歳、勤続年数[10]年、現場経験年数[10]年、階級[消防士長]、同様の活動[頻繁]、任務[隊員]
○当事者C	年齢[28]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[2]年、階級[消防士]、同様の活動[数年に1度程度]、任務[隊員]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	Aが	負傷者の確認をする。自力脱出不能を認め、直に二次災害に備えた。	作業スペースを確保する。
経過2	Bが	救急隊の支援を行う。自力脱出不能のため、救出作業に従事する。	救出及び救急支援。
経過3	Cが	救急隊の支援を行う。自力脱出不能のため、救出作業等の補助。	救出及び救急支援。
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

危険情報を把握、予見できた。危険事象の対応方法を知っていた。集中力、注意力があった。避難・退避がうまくいった。資機材の機能が適切だった。資機材の操作がうまくいった。個人装備が適切だった。周囲の視界が確保できていた。現場周辺の地理を知っていた。指揮者が適切に指示した。後方からの監視の目が行き届いていた。他隊(員)との連携活動がうまくいった。他隊(員)から適切な注意を受けた。その他 : 先着のパトカーを最後方に、斜線規制を指示し、作業スペースがとれた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・ 活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・ 体調が悪かった。	いいえ
・ 悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・ 装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・ 必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・ 狭隘な場所であった。	いいえ
・ 暑かった（寒かった）。	いいえ
・ 野次馬が多かった。	いいえ
・ 現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・ 足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・ 足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・ 指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・ 隊員の連携が不十分だった。	
・ 隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ
